# 平成24年度北海道文化財年報



道指定史跡 「斜里朱円周提墓群」



道指定有形文化財(考古資料) 「斜里朱円周提墓群出土品」 (平成24年度 指定)

平成25年6月 北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

# はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。このため、 北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、 文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、名勝ピリカノカ「十勝幌尻岳(ポロシリ)」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報をご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電 話:011-204-5749 FAX:011-232-1076

メール: kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ: http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm

【表紙の写真】(北海道埋蔵文化財センター提供)

○ 道指定史跡「斜里朱円周提墓群」及び 道指定有形文化財「斜里朱円周提墓群出土品」(考 古資料) について

「斜里朱円周提墓群」と「斜里朱円周提墓群出土品」については、「斜里周円周提墓及び出土遺物」の名称で、道指定史跡として指定(昭和32年1月29日付け)されていましたが、本物件に係る重要遺跡確認調査の結果、出土品が資料化されたことにより、学術的価値が改めて確認されたことから、出土品を平成25年3月29日付けで、道指定有形文化財「斜里朱円周提墓群出土品」(考古資料)として、指定しました。

また、同時に史跡については、道指定史跡「斜里朱円周提墓群」の名称に改称しました。

# 目 次

Ι	平成	24年度文化財保護の主なあゆみ
1	新た	に指定・登録された文化財・・・・・・・・・・・・P 2
2	世界	P遺産登録を目指して・・・・・・・・・・・・・・P 10
3	文化	2財保護強調月間について・・・・・・・・・・・・・P 13
4	アイ	、ヌ民俗文化財の保存・伝承・・・・・・・・・・・・P 15
5	指定	至文化財の保存整備(国庫補助事業)
6	埋薦	で文化財保護のための事前協議・・・・・・・・・・・・P 20
7	埋    埋	&文化財の保護(国庫補助事業)・・・・・・・・・・・・P 22
8	発掘	品調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24
П	資料網	
1	文化	<b>公財</b>
	(1)	文化財の指定状況(国指定・道指定)・・・・・・・・・P 26
	(2)	国指定文化財一覧・・・・・・・・・・・・・・P 27
	(3)	道指定文化財一覧・・・・・・・・・・・・・ P 33
	(4)	管内別市町村指定文化財一覧・・・・・・・・・・・P 38
	(5)	管内別登録文化財
		登録文化財一覧・・・・・・・・・・・・・P 39
		平成 24 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧・・・・・ P 43
	(8)	平成 24 年度文化財パトロール・・・・・・・・ P 48
	(9)	平成 24 年度史勝跡名天然記念物の現状変更等許可件数
	(10)	平成 24 年度銃砲刀剣類の登録状況
2		嚴文化財
	(1)	市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧・・・・・・・・・・P 49
		平成24年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
	扎	2海道実施の所在・試掘調査一覧・・・・・・・・・・・P 50
	(3)	平成24年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
	(4)	平成24年度管内別発掘調査一覧
	(5)	平成 24 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数
	(6)	平成 24 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等・・・・・・・ P 51
	(7)	平成 24 年度出土文化財認定件数と出土遺物量
	(8)	平成 23 年度出土文化財譲与件数

3	その	他
	(1)	北海道教育推進計画・・・・・・・・・・・・ P 52
	(2)	平成 24 年度北海道文化財保護審議会・・・・・・・ P 53
	(3)	北海道文化財保護審議委員一覧
	(4)	平成 24 年度銃砲刀剣類登録審査会・・・・・・・・ P 54
	(5)	北海道銃砲刀剣類登録審査委員
	(6)	北海道立埋蔵文化財センター
	(7)	文化財情報の発信・・・・・・・・・・・・P 56
	(8)	文化財関係機関・団体リンク・・・・・・・・・・P 57

# I 平成24年度文化財保護の主なあゆみ

### 〇新指定(追加指定含む)の文化財

森町鷲ノ木町に所在する国の史跡「鷲ノ木遺跡」では環状列石の周辺部分が追加指定され、また、帯広市・中札内村の「十勝幌尻岳(ポロシリ)」が名勝ピリカノカに追加指定されました。道指定では、斜里町の「斜里朱円周提墓群出土品」が道の有形文化財(考古資料の部)に指定されました。その他、国の登録文化財として9件が登録されました。

### 〇世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする 縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。 4道県と関係14市町は、平成27年度の世界遺産登録をめざし、平成23年度に引き続いて、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを実施しました。

### 〇北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関 5 者と共同で、平成 20 年度に毎年 10 月 8 日~11 月 7 日 を**北海道文化財保護強調月間**に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成24年度は期間中に、52市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど156の事業が実施され、多くの方が参加しました。

### 〇アイヌ民俗文化財の保存・伝承把握

金成(かんなり)マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会を実施しました。

### 〇文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や 史跡整備などの文化財の保存整備事業を 11 件実施しました。

### 〇埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う 138 件の所在調査・試掘調査を実施し、開発 計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は65件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

# 1 新たに指定・登録された文化財

国の関係では、史跡の追加指定が1件、名勝の追加指定が1件、登録有形文化財(建造物)の登録が9件あり、道の関係では有形文化財(考古資料)の指定が1件あります。

- ●史跡(追加指定)
  - ①森町鷲ノ木町「鷲ノ木遺跡」(平成24年9月19日付け)
- ●名勝(追加指定)
  - ①ピッカノカ

帯広市・中札内村「十勝幌尻岳 (ポロシリ)」 (平成24年9月19日付け)

- ●道指定有形文化財(考古資料)
  - ①斜里町「斜里朱円周提墓群出土品」(平成25年3月29日付け)
- ●登録文化財(有形文化財) ※平成24年8月13日付け登録
  - ①札幌市「沼田家住宅旧第二りんご倉庫」 ⑥網走市「博物館網走監獄鏡橋出口哨舎」
  - ②札幌市「柳田家住宅旧りんご蔵」
- ⑦網走市「博物館網走監獄西門哨舎」
- ③網走市「博物館網走監獄庁舎」
- ⑧網走市「博物館網走監獄裏門」
- ④網走市「博物館網走監獄煉瓦造独居房」
- 9網走市「博物館網走監獄裏門哨舎」
- ⑤網走市「博物館網走監獄鏡橋入口哨舎」

# 新指定・登録文化財の位置



# 追加指定

# 史跡 鷲ノ木遺跡 (わしのきいせき) (森町)

【所在地】 茅部郡森町字鷲ノ木町 503番6ほか 【面 積】 81,362.37m<sup>2</sup>

【解 説】 鷲ノ木遺跡は、環状列石を中心とした範囲が平成18年1月に史跡指定されていますが、その後に行われた森町教育委員会の調査で、関連する遺構等が確認された周辺部分(写真中央の緑の林)についても、合わせて史跡に指定して、一体的な保護と活用を図るものです。

【問い合わせ先】 森町教育委員会社会教育課 電話 0137-42-2186

ホームページ: http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/edu/stone/



# 名勝 ピッカノカ

十勝幌尻岳(ポロシッ)(帯広市・中札内村)

### 【解説】

○ 北海道には、アイヌのユーカラに謡われた物語や伝承の舞台をはじめ、アイヌ語により 命名された独特の地形から成る土地など、文化財として保護すべき名勝地が数多く存在し ます。

これらの言語に彩られた、良好な自然の風致景観を持つ優秀な景勝地をアイヌ語で「美しい・形」を意味する「ピッカノカ」と総称し、国指定の名勝として保護されています。

〇 十勝幌尻岳は、日高山脈の北東部に位置する標高 1,846mの山岳です。十勝平野から日高山脈を眺めた時、ひときわ大きくそびえる山であるため十勝のランドマークとなっています。十勝幌尻岳を含む日高山脈は、ほぼ全域が「日高山脈襟裳国定公園」に指定されており、標高 500m以下は広葉樹林帯、これより上部は針広混交林、標高 1,000mを超えると次第にダケカンバが優占となり、標高 1,500m前後の森林限界より上部はハイマツ帯と高山植物群落となります。

また、多くの種類の動物が生息し、標高 1,500m以上の高山帯にはシマリスなどの小型 哺乳動物や鳥類、頂上付近のガレ場ではナキウサギが確認されるほか、標高 1,500m以下 の樹林帯はヒグマの生息域でもあり、山麓地域には、エゾシカ、キタキツネ、エゾクロテンなどが生息しています。

一方、十勝幌尻岳は、アイヌの神(カムイ)が遊んだ山であると伝えられ、帯広のアイヌの人々にとって人跡未踏の神聖な山(カムイノホリ)として崇められてきました。

現在でも、帯広のアイヌの人々が行う先祖供養祭やチョマトー祭などの伝統的な祭祀・ 儀礼に際しては、ヌサ(祭壇)に十勝川の神であるシペッカムイなどと共に幌尻岳の神で あるポロシリカムイが必ず祀られるなど、チノミシリ(霊山)として信仰の対象となっていま す。

このような、アイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群である本 山勝幌尻岳を、「美しい・形」を意味する「ピッカノカ」の下に保護することを目的として、 今回「十勝幌尻岳(ポロシッ)」として、名勝に指定されました。

【所在地】 「十勝幌尻岳」: 帯広市と河西郡中札内村の市町村界

### 【問い合わせ先】

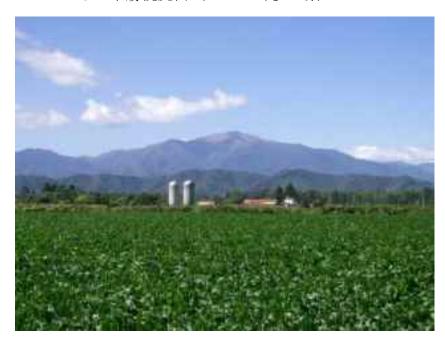
帯広市教育委員会 電話0155-65-4209

ホームページ: http://www.city.obihiro.hokkaido.jp

中札内村教育委員会 電話0155-67-2929

ホームページ: http://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

# ○「十勝幌尻岳 (ポロシリ)」全景





○十勝幌尻岳中腹を流れる オピリネップ川 (標高 650m 付近)



○山頂(標高 1,846m)から見 た北尾根



# 道指定有形文化財

斜里朱円周堤墓群出土品(しゃりしゅえんしゅうていぼぐんしゅつどひん)(斜里町)



(北海道立埋蔵文化財センター提供)

【解 説】斜里朱円周堤墓群は、昭和23・24両年度に斜里町教育委員会が主体となり、河野広道らによって発掘調査が実施されました。この調査により、周堤墓が縄文時代の共同墓地であることが確認されました。

本出土品の大部分は、河野の調査の時に副葬品として発見されたもので、縄文時代後期末に位置づけられる栗沢式土器(深鉢形・壺形・小型鉢形の土器)、長さ73センチメートルを測る石棒、ヒスイ製の玉やサメ歯製品の装身具などがあります。

本指定品は、北海道でしか確認されていない周堤墓が縄文時代の墓であることを考古学的に明らかにした調査によって発見されたものであり、学史的に重要であるばかりでなく、北海道における先史時代の墓制を考える上で、学術的な価値の高い物件です。

【所在地】斜里町立知床博物館(斜里郡斜里町本町 49-2)

【問い合わせ先】斜里町立知床博物館:(0152)23-1256

・ホームページ

http://shir-etok.myftp.org/shizen\_rekishi/bunkazai/shuen\_shuteibo

# ・登録有形文化財沼田家住宅旧第二りんご倉庫

【年代】昭和28年

【所在地】札幌市豊平区西岡4条10丁目350番地64

【解説】煉瓦壁内に中空層を設けて断熱性を持たせ、入口上部にはペディメントを装飾した煉瓦倉庫です。

【問い合わせ先】札幌市観光文化局文化部文化財課 電話:011-211-2312

ホームページ: <a href="http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/index.html">http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/index.html</a>





# ・登録有形文化財 柳田家住宅旧りんご蔵

【年代】大正後期

【所在地】札幌市豊平区平岸2条5丁目9番1号

【解説】妻側上下階の開口部に意匠を凝らした庇を設けた、札幌市内における煉瓦造りんご倉庫としては、初期の例です。

【問い合わせ先】札幌市観光文化局文化部文化財課 電話:011-211-2312

ホームページ: http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/index.html





## • 登録有形文化財

博物館網走監獄庁舎、博物館網走監獄煉瓦造独居房、博物館網走監獄鏡橋入口哨舎、博物館網走監獄鏡橋出口哨舎、博物館網走監獄西門哨舎、博物館網走監獄裏門、博物館網走監獄裏門哨舎

【年代】明治45年~大正8年

【所在地】網走市呼人1番1号他

【解説】網走刑務所から博物館網走監獄に移築されて公開されている建造物で、庁舎は 正面の切妻破風に半円アーチを設け、入母屋造の玄関ポーチを構えており、外壁は下 見板張りのペンキ塗りで、腰を竪板張とし、上げ下げ窓を連続させています。

煉瓦造独居房は厚い煉瓦壁で囲まれた建物で、明治期の行刑手施設として希少な遺構となっています。裏門は、間口3.2メートルの半円アーチの出入口を開き、左右に高い煉瓦塀をのばしていますが、いずれも刑務所内で製造された煉瓦や石材が使用されています。

各哨舎は刑務所の出入口など重要な場所に建てられていた監視所で、六角形平面を呈し、各面にガラス窓を建てて全方向への監視を可能としており、ドーム状の鉄板葺き 屋根の頂部に鉾状棟飾りを立てるなど、特徴的な外観となっています。

【問い合わせ先】網走市立郷土博物館 電話:0152-43-3090

ホームページ: http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/020syokai/siseki.html



博物館網走監獄庁舎



博物館網走監獄鏡橋入口哨舎



博物館網走監獄煉瓦造独居房



博物館網走監獄西門哨舎



博物館網走監獄鏡橋出口哨舎



博物館網走監獄裏門哨舎



博物館網走監獄裏門

# 2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年1月5日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の3件の文 化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」(世界遺産候補とな る各国資産のリスト)に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成24年12月に「本部」は北海道の史跡キウス周堤墓群(千歳市)、史跡垣ノ島遺跡(函館市)の他、青森県の史跡大森勝山遺跡(弘前市)を構成資産に追加することを決定しました。これにより道内6遺跡を含む18遺跡が世界遺産登録を目指すことになりました。

### (1)世界遺産登録に向けた体制と事業について

平成24年12月11日に追加構成資産のある2市を加え、新たに4道県14市町で締結した協定に基づき「本部」が行う主な事業は2つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書協議案」を平成25年3月29日に文化庁へ提出しました。今後はこの「協議案」を基に更なる協議を重ね、文化庁の了解を得た後、あらためて正式な推薦書案を提出することになります。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があり、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信して

「本部」のもとには各自治体の 文化財担当課長などで組織する 「縄文遺跡群世界遺産登録推進 会議」と考古学や文化財学などの 専門家による「縄文遺跡群世界遺 産登録推進専門家委員会」が設置 され、それぞれの事業の円滑な実 施と専門的な事項の調査・検討を 行っています。

いこうとするものです。

平成 24 年度には臨時も含め推 進会議を5回、専門家委員会を各



札幌市で開催した国際シンポジウムの様子

3回開催し、推薦書協議案の作成を進めました。

また、平成 24 年 9 月 17 日には札幌市を会場として、海外の専門家 4 名を招聘し、国際シンポジウムを開催しました。シンポジウムではアメリカ・スイス・中国の専門家が縄文遺跡群の世界遺産登録に関連した発表を行い、推進会議座長である青森県教育庁文化財保護課の岡田課長が世界遺産登録の取組状況を説明し、専門家委員会委員長の菊池早稲田大学名誉教授が総括しました。

◆国際シンポジウムの開催

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/whforum.htm

### (2)縄文遺跡群ロゴマークの決定について

970点の応募作品の中から、道内からの投票も含めた4道県の地域投票結果も参考とし、縄文遺跡群世界遺産登録推進会議は平成24年12月11日にロゴマーク最優秀作品を決定しました。

ロゴマークはどなたでも使用することが出来ます。使用を 希望する方は「縄文遺跡群ロゴマーク使用基準」をお読みに なり、「使用承認書」により北海道教育委員会に申請書を提 出して下さい。



- ◆縄文遺跡群ロゴマークの決定について http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/logomark.htm
- ◆縄文遺跡群ロゴマーク使用基準
- http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh/logosetrules.pdf
- ◆縄文遺跡群ロゴマーク使用承認書

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh/logoapplication.doc

### (3) 北海道の独自事業について

平成14年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成16年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の3県とともに進めてきました。暫定一覧表への記載実現はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成23年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織



北の縄文・パネル展 2012 上川の様子

として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、道内における気運の醸成を図るために「北の縄文・パネル展 2012」を 10 月に札幌市、11 月に旭川市で開催しました。

これらの登録推進事業については北海道教育委員会のウェブサイト内で報告し、今後の 予定についても紹介しておりますのでご参照ください。

- ◆北の縄文パネル展 2012 道庁道政広報広聴コーナー http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pex.htm
- ◆北の縄文パネル展 2012 上川

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/pexkamikawa.htm

◆世界遺産ポータル

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm

### (4)「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

# http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h 14.html

平成24年度は、標津町では町主催で世界遺産関係の展示会を開催した他、史跡標津遺跡群の整備計画を検討しました。北見市では市として世界遺産推進検討会議を設置し諸課題について検討をはじめた他、関連する講演会を開催しました。また、史跡常呂遺跡の整備計画の検討が進みました。

この資産の世界遺産登録推進のためには、二つの史跡の調査や整備に加え、同様な資産を有する他の市町村とも連携しながら道北・道東に及ぶ大規模な竪穴住居跡群の調査研究を行い、海外の類似の遺跡とも比較しながらその価値を明らかにする作業が必要です。

## 3 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成20年度に毎年10月8日~11月7日の期間を、 北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育 委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の6者により共同で、設定した ものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業(指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業)を実施するものです。

平成24年度は、第5回目として、 展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化 財に関連するイベントが、52市町で 156の事業が実施されました。また、 北海道教育委員会では、10月15日~ 19日に道庁ロビーなどで「世界遺産 をめざして-北の縄文・パネル展 2012」(北海道と共催)を開催し、 多くの皆様にご来場頂きました。



なお、第5回北海道文化財保護強調月間ポスターには、毎年事業の報告をいただいている「重要文化財旧函館区公会堂」で開催されたイベントの写真を掲載しました。

今後も、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を 身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、取り組み ます。

・文化財保護強調月間について→

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm

# 「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日



沙流川歴史館・特別展示 『二風谷遺跡群出土のアイヌ資料』



網走市民大学 『網走の古代文化』~1300 年前の モヨロのくらし



北の縄文パネル展2012

# 4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

### (1)アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ 文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を 図りました。

[金成(かんなり)マツノート整理・翻訳、刊行事業]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・金成マツのノートを整理・翻訳し、 その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 43『アイヌ英雄叙事詩「カニエサンノッへ神が天降る曲」』萱野志朗訳
- ・ユーカラシリーズ 44『アイヌ英雄叙事詩「金色の羽の若き姉」』髙橋靖以訳
- ・ユーカラシリーズ 45『アイヌ英雄叙事詩「リクントのヤイラプ」』 蓮池悦子訳

### (2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業

アイヌ文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため保存・活用のため、アイヌ 文化に関連する文化財保護に携わる専門職員などを対象に、アイヌ文化財の保存・活用 のための研修を行いました。

・アイヌ文化財専門職員等研修会(会場:札幌、参加人員:21人)

## 5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存や修理、史跡・名勝の保全などの事業を行いました。

### ①重要文化財

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財	豊平館(ほうへ	豊平館は、明治 13 年に建てられた開拓使の手によ	札幌市
(建造物)	いかん)	る本格的洋風建築の遺構であり、北海道における明	
		治時代洋風建築の代表作です。	
		経年劣化等による損傷が大きく、平成 24 年度から	
		平成 27 年度まで保存修理工事を実施する予定であ	
		り、今年度は初年度として仮設工事及び基礎、屋根、	
		建具、内装等の解体、取り外し等を実施しました。	

重要文化財	旧旭川偕行社	旧旭川偕行社は、明治 35 年に旭川に陸軍第七師団	旭川市
(建造物)	(きゅうあさ	が設営された際に、将校たちの社交場として建設さ	
	ひかわかいこ	れ、現在は旭川市彫刻美術館として保存再利用され	
	うしゃ)	ている建造物です。	
		平成24年度から平成27年度までの予定で保存修理	
		工事を実施する予定で、今年度は仮設工事ととも	
		に、基礎、床板、建具、外壁等の解体、取り外し等	
		を実施しました。	
重要文化財	蝦夷三官寺善	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人	善光寺
(歴史資料)	光寺(えぞさん	などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立	(伊達市)
	かんじぜんこう	されました。	
	じ)関係資料	平成 24 年度は、関係資料のうち「円頓戒」(紙本墨	
		書)8点及び「仙海上人画像」1点の修理を行いまし	
		た。	
重要文化財	蝦夷三官寺国	国泰寺は、東蝦夷地の警備、和人の定着化等を目的	国泰寺
(歴史資料)	泰寺(えぞさん	として文化元年(1804年)に建立された寺院で、境	(厚岸町)
	かんじこくたい	内には、『日鑑記』を含む文書・記録類、経典類、	
	じ)関係資料	器物類等、総点数832点からなる貴重な資料(国泰	
		寺関係資料)が保管されてきました。	
		平成23年度から26年度の4年間をかけて、破損物	
		品 43 点に係る保存修理事業が開始されています。	

# [整備状況]

# 〇重要文化財「豊平館」(札幌市)



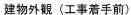
建物外観(仮設工事中)



解体工事(2階広間床壁解体工事中)

# 〇重要文化財「旧旭川偕行社」(旭川市)







解体工事(2階展示室床板解体工事)

# 〇重要文化財「蝦夷三官寺善光寺関係資料」(伊達市)



(伊達市教育委員会提供)



# 〇重要文化財「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」(厚岸町)



(厚岸町教育委員会提供)

# ② 選定

種別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的	函館市元町末広	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ	函館市
建造物群	町重要伝統的建	造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異	
保存地区	造物群保存地区	国情緒の濃い町並みを形成しています。	
		この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平	
		成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝	
		統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧	
		などを継続的に行っています。平成24年度は、古稀庵	
		など4件の修理事業を実施しました。	
重要文化的	アイヌの伝統と	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的	平取町
景観	近代開拓による	景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめ	
	沙流川流域の文	ながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に	
	化的景観	展開することによって、多文化の重層としての様相を示	
		す極めて貴重な文化的景観です。	
		平成24年度は、現地説明会等を行いました。	

# 〇函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区 (函館市)



「古稀庵主屋」建物外観 (修理完了後)



「旧相馬邸附属板塀」外観(修理完了後)



# 〇平取町重要文化的景観 (平取町)

[チセの修景]

◆チセはアイヌ語で家のことです。 このチセは地域のアイヌ文化振興に活用され る場であり、建築技術を継承する意味もあり ます。

# ③ 史跡・名勝

種別	· 名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年	函館市
		(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の	
		城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。	
		平成 24 年度は、石垣の現況調査及び構造確認を目的	
		とした発掘調査と、傷みの進んだ「二の橋」敷板の取替	
		を実施しました。	
史 跡	松前氏城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成し	松前町
	のうち	た我が国最北の城です。海からの攻撃に備えた台場(砲	
	福山城跡	台) が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から	
		続く寺町が今も残ります。	
		24年度は本丸西側に位置する堀廻り地区の浚渫、園路	
		整備、植栽などの環境整備を実施しました。	
史 跡	最寄 (もよろ)	最寄貝塚は網走川河口左岸の砂丘上にあり、6~9世紀	網走市
	貝塚	頃、道東・道北地方の沿岸部を中心に栄えたオホーツク	
		文化を代表する遺跡の一つです。	
		24 年度は遺構保存公開展示施設の展示、史跡模型の作	
		製、案内板の設置、映像ソフトの作成などが行われ、25	
		年5月1日から、新しいガイダンスとともに公開されて	
		います。	
史 跡	国泰寺跡	国泰寺は 19 世紀はじめに幕府が蝦夷地に設置した 3	厚岸町
		つの寺院(三官寺)の一つです。	
		文化 2(1805)年の開山で、日鑑記などの記録類は、	
		幕末期における東蝦夷地の様子がわかる貴重な資料と	
		して重要文化財に指定されています。	
		24年度は、山門付属塀の修理が行われました。	
名 勝	ピッカノカ	襟裳岬はアイヌ語で「大きな岬」を意味する「オンネ	えりも
	のうち	エンル」 と呼ばれ、日高山脈の南端が太平洋に没する	町
	襟裳岬(オンネ	雄大な景観で知られています。	
	エンル」)	えりも町では 23 年度から「襟裳岬」を生かした観光	
		振興・地域活性化事業に着手し、名勝の標識設置、6 言	
		語による解説パンフレットの作成・配布、学習会の開催	
		等を行いました。	

# 6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財(埋蔵文化財)を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会と が前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、

できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」 と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、24,213.835ha について所在調査を、251.810ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

### 埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ (概要)

① 工事や開発を計画



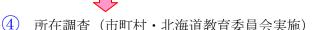
埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <a href="http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm">http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm</a>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合









遺跡がありそうな地形かどうか判断します。 土器・石器などが落ちていないか (川や海のそばの高台は特に要注意!) 実際に現地を歩いてみて調査します。



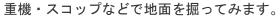
### →遺跡が所在しない場合は着工

(5) 試掘調査(市町村・北海道教育委員会実施)



000







掘った土の中に土器・石器等がある か調べます。 ↓





昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。(出土した土器 約2000年前のもの) (中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡)



# →遺跡が所在しない場合は着工可

- ⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。 (北海道教育委員会など)
  - (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
  - (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
  - (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
  - (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



(7) 工事等の計画者に文書でお知らせします。

# 7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 6 箇所の所在調査と 28 箇所の試	札幌市
		掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	
埋蔵文化財	町内遺跡	砂原陣屋跡の史跡指定地内で遺構等の確認調査を行い、	森町
		幅 6mの堀跡を確認しました。また、鷲ノ木遺跡の環状	
		列石の保存処理に関する調査や劣化防止措置、町内の2	
		遺跡の試掘調査を実施しました。	
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡館城跡の内容を確認するため発掘調査を実施しま	厚沢部町
		した。調査により北西部の堀跡や柵列が検出され、南東	
		隅の堀跡は幅広であることが確認されました。	
埋蔵文化財	町内遺跡	過去に町内遺跡の発掘調査等で出土した遺物の公開活	上ノ国町
		用を目的として、鉄製品・銅製品・木製品・骨角器 2432	
		点に合成樹脂をしみ込ませる保存処理を行いました。	
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される 124 箇所の所在調査、7 箇所の試	美幌町
		掘調査を実施しました。調査の結果、竪穴住居跡が検出	
		され、旧石器時代の遺物等が出土しました。	
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される6箇所の試掘調査を実施し、新た	津別町
		に2箇所の遺跡を確認しました。	
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される2箇所の試掘調査と苫東柏原地区	苫小牧市
		の分布調査を行い、新たに3箇所の遺跡を確認しました。	
		調査の結果、縄文時代の落とし穴が検出されました。	
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡北黄金貝塚に隣接する北黄金2遺跡の試掘調査を	伊達市
		実施しました。貝塚の調査ではシカの頭骨や土器片がま	
		とまって出土し、動物に関わる儀礼が行われたと考えら	
		れています。	
埋蔵文化財	町内遺跡	昭和 41・42・59 年に発掘調査を実施した入江遺跡の出	洞爺湖町
		土遺物の整理を行い、報告書を刊行しました。	
埋蔵文化財	史跡等及び埋	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習	千歳市
	蔵文化財公開	会や土器・石器・勾玉作り、史跡キウス周堤墓群等をテ	
	活用	ーマとした企画展・講演会を実施しました。また、市民	
		向けのパンフレットを作成しました。	

埋蔵文化財	史跡等及び埋	史跡鷲ノ木遺跡と町内の縄文遺跡を紹介する展示会を	森町
	蔵文化財公開	開催しました。また、児童・町民向けの鷲ノ木遺跡や縄	
	活用	文文化等をテーマにした小冊子を作成しました。	
埋蔵文化財	史跡等及び埋	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり等の体験学習	遠軽町
	蔵文化財公開	会や講演会、展示会を開催し、黒曜石の露頭がある赤石	
	活用	山の見学会を実施しました。また、埋蔵文化財センター	
		の展示ガイドを作成しました。	
埋蔵文化財	史跡等及び埋	史跡北黄金貝塚や縄文文化を紹介する講座・展示会・シ	伊達市
	蔵文化財公開	ンポジウムやイベント等を開催しました。また、史跡を	
	活用	紹介する日本語・英語のパンフレットを作成しました。	



美幌町 調査風景



森町 鷲ノ木遺跡の配石遺構



遠軽町 石器つくり



伊達市 縄文ロビー講座

# 8 発掘調査

平成 24 年度は北海道内で 73 件、121,860 ㎡ の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	49	80, 206 m²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	9	38, 732 m²
大学・博物館等	15	2, 922 m²

### 〇 縄文時代早期前半の住居跡(日高町 ケノマイ2遺跡)



日高町ケノマイ2 遺跡の発掘調査では、 縄文時代の竪穴住居 跡が28軒検出されま した。そのうち23軒 は、縄文時代早期前 半の暁式と呼ばれる 土器を伴う古い年代 のものでした。

暁式土器は帯広市 暁遺跡出土品に代表 される平底条痕文系 土器群で、おもに道

東部に分布しています。日高町における暁式期の集落発見は、ピタルパ遺跡に次ぐ2例目で、日高山脈を隔てた道東部と日高地方とがどのような関係にあったのか、その解明に迫る資料となるでしょう。

## 〇 縄文時代晩期の集石遺構(浜頓別町ブタウス遺跡)



浜頓別町ブタウス 遺跡の発掘調査では、 縄文時代晩期後葉の 集石遺構が24基発見 されました。集石遺 構は直径1~2m程 度のほぼ円形の浅い 窪みに多量の礫が密 集したものです。

礫は焼けて変色し、 被熱のため割れたも のが多くみられます。なかには大量の炭化物が含まれ、底面には焼土が形成されています。 魚や海獣類の肉を加工、保存するために使われた集石炉ではないかと考えられていますが、 動物の骨などは検出されておらず、実際どのような作業が行われたのか、興味が尽きま せん。

平成 24 年度の発掘調査の概要は、下記の URL でご覧ください。

# Ⅱ 資料編

# 1 文化財

# (1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国道	区分	種別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日福	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	im .
		国宝							1										1
		重要文化財			13	3	3	1	13	5	1	2	1	1	1	2		5	51
		重要無形文化財																	0
		重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	指	重要無形民俗文化財			1														1
		特別史跡							1										1
	定	史跡		1	8	6	6	1	10	2		1		4	2	6	4		51
		名勝(*1)			*1		*1	*1	1		1		*1	1 *1	*1				3
国		特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
		天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
		小計	15	3	26	11	11	6	29	9	5	6	1	7	4	14	7	5	159
	選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
		重要文化的景観						1											1
		小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	7%	有形文化財 (建造物)		25	22	14	6	1	19	1	10		2	13	7	1	8		129
	登録	記念物							1										1
	郵	小計	0	25	22	14	6	1	20	1	10	0	2	13	7	1	8	0	130
		有形文化財		3	7	5	4	2	32	7		2	3	3	4	2	3		77
		有形民俗文化財			2				1	3									6
	指	無形民俗文化財							2	5									7
道		史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	定	名勝									1			1					2
		天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
		小計	0	9	9	8	7	5	41	17	3	2	10	14	15	4	7	0	151
		合計	15	37	57	33	24	13	91	27	18	8	13	34	26	19 け計	22	5	442

<sup>※</sup>国指定名勝(ピリカノカ)の指定件数は1件でカウントされるため、\*印の件数は計、小計に加算されない。

<sup>※</sup>北海道の文化財→http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazai07.htm

# (2)国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣 が指定して保存を図る文化財です。

# 〔国宝〕

(平成25年3月31日現在)

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	土偶(北海道函館市著保內野遺跡出土)	函館市	H19.6.8

# 〔重要文化財〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵(旧舎那院忘筌)	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城(松前城)本丸御門	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懐紙(山路眺望暮里神楽)	帯広市	S25. 8. 29
5	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶(北海道室蘭市輪西町出土)	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像(本堂安置)	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部(旧東北帝国大学農科大学)第二農場	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場(時計台)	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器(北海道上磯郡上磯町茂辺地出土)	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品(北海道千歳市美々第四遺跡出土)	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58. 6. 2
22	土面(北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土)	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町	Н3. 6. 21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	知内町	Н3. 6. 21

27	龍雲院	松前町	H4.1.21
28	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4.1.21
29	正行寺本堂	厚岸町	H4.1.21
30	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	上ノ国町	Н5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	江別市	Н5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	江別市	Н7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	Н9.6.30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院(旧遺愛女学校)  旧宣教師館	函館市	H13. 6. 15
30	本館	印即四	H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16.6.8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16.6.8
42	箱館奉行所文書	札幌市(北海道立 文書館)	H16.6.8
43	北海道美々8遺跡出土品	江別市(北海道立埋 蔵文化財センター)	Н17.6.9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17.6.9
45	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	H17.6.9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17.6.9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	Н18.6.9
48	銀板写真(松前勘解由と従者像)附添状	松前町	Н18.6.9
49	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館出土品	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡出土品	遠軽町	H23. 6. 27

※国保有重要文化財(No.6・18 東京国立博物館保管、No.22 北海道立埋蔵文化財センター、 No.33 江別市郷土資料館、No.40 伊達市教育委員会)

# 〔重要有形民俗文化財〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

# 〔重要無形民俗文化財〕

No.	名	称	所 在 地	指定年月日
			白老町・平取町・新ひだか町・旭川市	
1	アイヌ古式舞踊		浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市	S59. 1. 21
			むかわ町・日高町・新冠町・様似町	
			弟子屈町・白糠町	

# 〔特別史跡〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

# 〔史 跡〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10.3.3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡	室蘭市	S 9 . 5 . 1
3	ヲシャマンベ陣屋跡	長万部町	S49. 8. 22
	砂原陣屋跡	森町	S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9.8.9
5	松前氏城跡 福山城跡	松前町	S10.6.7
Э	館城跡	厚沢部町	H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ケ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ケ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41.3.3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12

21	善光寺跡		伊達市	S49. 5. 23
	標津遺跡群 伊茶伯	ニカリカリウス遺跡		S51. 6. 21
22	古道泊	遺跡	標津町	S54. 5. 22
	三本	木遺跡		H1. 10. 20
23	西月ケ岡遺跡		根室市	S51. 8. 28
24	大館跡		松前町	S52. 4. 5
	上之国館跡 花沢館	官跡		S52. 4. 12
25	洲崎鱼	<b>館跡</b>	上ノ国町	S52. 4. 12
	勝山館	<b>育跡</b>		Н18. 3. 31
26	北斗遺跡		釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群		千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群		千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ	亦	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓	<b></b>	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場		余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋	· 弥	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡		北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡積	详	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅逓所		北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡		苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ	亦	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚		伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚		洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ	車屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群		遠軽町	Н1.1.9
42	ピリカ遺跡		今金町	Н6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場		留萌市	Н9.3.11
44	シベチャリ川流域	チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか町・日高町	Н9.12.2
45	江別古墳群		江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚		余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡		函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡		恵庭市	H17.3.2
49	鷲ノ木遺跡		森町	H18. 1. 26
50	垣ノ島遺跡		函館市	Н23.2.7
51	旧奥行臼駅逓所		別海町	H23. 9. 21

# 〔名 勝〕

No.	名	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園(香雪園)	函館市	H13. 8. 13
	ピッカノカ 九度山 (クトゥンヌプリ)	名寄市	Н21. 7. 23
	黄金山(ピンネタイオルッペ)	石狩市	H21. 7. 23
	神威岬(カムイエトゥ)	枝幸町・浜頓別町	H22. 2. 22
3	襟裳岬(オンネエンルム)	えりも町	H22.8.5
3	瞰望岩(インカルシ)	遠軽町	Н23.2.7
	カムイチャシ	豊浦町	Н23.2.7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24. 1. 24
	十勝幌尻岳(ポロシリ)	帯広市・中札内村	H24. 9. 19

# 〔特別天然記念物〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ (植物)	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林(植物)	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落(植物)	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山(地質)	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山(天然保護区域)	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ(動物・鳥類)	主な生息地北海道	S27. 3. 29

# 〔天然記念物〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯 (植物)	倶知安町・京極町・喜茂別町・ 真狩村・ニセコ町	T10.3.3
2	円山原始林 (植物)	札幌市	T10.3.3
3	藻岩原始林(植物)	札幌市	T10.3.3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地 (植物)	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落(植物)	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林(植物)	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯(植物)	厚沢部町	S3.2.7
8	オオミズナギドリ繁殖地(動物・鳥類)	松前町	S3. 3. 24
9	歌才ブナ自生北限地帯(植物)	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地(動物・魚類)	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬(動物・犬類)	_	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地(動物・鳥類)	羽幌町	S13. 8. 8

13	名寄鈴石(鉱物)	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧(鉱物)	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石 (地質)	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地(植物)	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地(植物)	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地(動物・昆虫)	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地(動物・鳥類)	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ (動物・蝶類)	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ (動物・蝶類)	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒヒョウモン(動物・蝶類)	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ(動物・鳥類)	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ (動物・鳥類)	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ(動物・蝶類)	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原(天然保護区域)	標茶町・鶴居村・釧路町	S42.7.6
27	オジロワシ (動物・鳥類)	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ(動物・鳥類)	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林(天然保護区域)	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ (動物・鳥類)	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン(動物・鳥類)	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ (動物・鳥類)	主な生息地北海道・青森県・ 宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン(動物・鳥類)	主な生息地北海道・青森県・ 宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落(植物)	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島(天然保護区域)	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ (動物・蝶類)	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石(鉱物)	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原 (天然保護区域)	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林 (植物)	羽幌町	S58. 8. 30
40	タ張岳の高山植物群落および蛇紋岩メラン ジュ帯(植物・地質)	夕張市・南富良野町	Н8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地(地質・植物)	足寄町	H12.9.6

# 〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No	. 名	称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町重要伝統的類	建造物群保存地区	函館市	H1. 4. 21

# 〔重要文化的景観〕

No.
-----

1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26
---	---------------------------	-----	------------

<sup>・</sup>国指定文化財一覧は→

## http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm

## (3)道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を 受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

## 〔有形文化財〕

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	<b>博岸出土の石器</b>	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	椴法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12

27	本願寺駅逓	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑(貞治の碑)	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46.3.5
32	板碑 (戸井町の碑)	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上/国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅 羽幌町		S54. 11. 27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイポ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁猟供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
55	木造地蔵菩薩立像	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	Н3.3.30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4.3.31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4.3.31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4.3.31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4.3.31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4.3.31

62	木造五百羅漢像	小樽市	Н6.2.9
63	奥行臼駅逓	別海町	Н6.6.3
64	<b>淹里遺跡群出土遺物</b>	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	豊頃町	Н13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	松前町	Н13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	Н13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	Н13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	Н19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18
73	大乗妙典一千部供養塔	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	江別市(北海道立図 書館)	H22. 3. 16
75	大麻3遺跡出土の土偶	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周提墓群出土品	斜里町	H25. 3. 29

## 〔有形民俗文化財〕

No.	名	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保 存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保 存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	Н19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

## 〔無形民俗文化財〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町·福島町· 函館市·小樽市	H20. 6. 13

# 〔史 跡〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26.9.6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25.3.29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤント一竪穴群	大樹町	S41.7.7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鵡川盛土墳墓群	むかわ町	S41.7.7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41.7.7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝才コッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	Н20. 3. 18

# 〔名 勝〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

# 〔天然記念物〕

No.	名称	所 在 地	指定年月日		
1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28		
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29		
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町	S32. 1. 29		
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29		
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11		
6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17		
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3		
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26		
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15		
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24		
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24		
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24		
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3		
14	白滝の流紋岩球顆	遠軽町	S39. 10. 3		
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14		
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市			
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18		
18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18		
19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18		
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19		
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18		
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18		
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21		
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	厚岸町	S47. 4. 1		
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1		
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14		
27	夕張の石炭大露頭	S49. 12. 6			
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主 帯広市		S49. 12. 6		
29	タキカワカイギュウ化石標本	S59. 3. 12			
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	Н6.6.3		
31	黄金水松	H14. 3. 29			
32	空知大滝甌穴群	Н23. 3. 15			
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	別海町	Н23. 3. 15		

・道指定文化財一覧は→

## http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm

## (4)管内別市町村指定文化財一覧

管内		文化財 造物)	有形文化財 (美術工芸品)	無 形 文化財	民俗之	文化財	史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形				保存地区	
空知	16	(17)	35	3	4	17	11	0	10	0	96
石狩	8	(8)	21	2	3	3	5	0	4	0	46
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	9	(9)	42	0	12	14	23	0	14	0	114
日高	1	(1)	17	5	0	0	2	1	1	0	27
渡島	2	(2)	112	0	18	15	9	4	8	1	169
桧山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
上川	15	(16)	19	3	0	10	16	0	19	0	82
留萌	3	(3)	4	0	3	7	42	0	1	0	60
宗谷	15	(15)	13	0	0	2	14	0	7	0	51
オホーツク	8	(8)	12	0	4	1	7	0	7	0	39
十勝	3	(3)	37	2	1	8	7	0	14	0	72
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	15	0	1	2	6	0	20	0	46
合計	101	(110)	419	18	55	105	178	8	130	1	1,015

・市町村指定文化財一覧は→ http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/grp/03/itiran220401.pdf

・函館市(渡島)が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

## (5)管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	22	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	1	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	19	1
檜山	1	0
上川	10	0
留萌	0	0
宗谷	2	0

管内	有形文化財	記念物
オホーツク	13	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	7	0
合計	129	1

#### (6)登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

## 〔登録有形文化財〕

(平成25年3月31日現在)

No.	名称	所 在 地	登録年月日
1	札幌市資料館(旧札幌控訴院)	札幌市	Н9.5.7
2	五島軒本店旧館	函館市	Н9.5.7
3	北海道大学古河記念講堂(旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市	Н9.9.3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館(旧北星女学校宣教師館)	札幌市	H10.9.2
6	日本キリスト教団札幌教会 (旧札幌美以教会堂)	札幌市	Н10.9.2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	Н11.7.8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館(旧三井クラブ)	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチェラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎 (旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室(旧函館師範学校)	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館(旧標本貯蔵室)	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室(旧マンロー邸)	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館 (旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	Н13. 8. 28

29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫 (リハーサルホール)	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫 (チェアーズギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫 (デザインギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫(大雪地ビール館)	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場 (旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場)	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウヰスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17.2.9
52	ニッカウヰスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17.2.9
53	ニッカウヰスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17.2.9
54	ニッカウヰスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17.2.9
55	ニッカウヰスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17.2.9
56	ニッカウヰスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウヰスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウヰスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17.2.9
59	ニッカウヰスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス (旧浅野セメント函館営業所)	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院(旧遺愛女学校)謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12

C.4	描版始纲主跃净二日,図典相	纲土士	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	
65	JR小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	JR小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所(蔵元北の錦記念館)	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫(大正・昭和の暮らし館)	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場(酒の郷なつかしホール)	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫(昔の酒道具展示館)	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅逓所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅(旧盛田家住宅)主屋	森町	Н19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋(旧土田旅館)	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	Н20.3.7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	Н20.3.7
95	旧上藻別駅逓所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21.1.8
97	北海道立根釧農業試験場(旧北海道農事試験場根室支場)農具庫	中標津町	H21.8.7
98	北海道立根釧農業試験場(旧北海道農事試験場根室支場)種苗倉庫	中標津町	H21.8.7

99	伝成館(旧北海道農事試験場根室支場庁舎)	中標津町	H21.8.7
100	中標津町郷土館緑ヶ丘文官(旧北海道農事試験場根室支場陳列館)	中標津町	H21.8.7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21.8.7
102	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
103	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
104	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
105	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
106	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
107	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
108	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
109	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10
110	夕張鹿鳴館(旧北炭鹿ノ谷倶楽部)	夕張市	H23. 10. 28
111	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
117	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
118	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
119	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
120	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
121	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
122	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
123	博物館網走監獄庁舎	網走市	H24. 8. 13
124	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
125	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
126	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
127	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
128	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
129	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13

## 〔登録記念物〕

		名	称	所在地	登録年月日
1	函館公園			函館市	H18. 1. 26

<sup>・</sup> 国登録文化財一覧は→http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm

## (7)平成24年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

## [一般公開・展示会]

市町村名	公	開・活 用 事 業 名	主催者
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉	石器群の公開	岩見沢市郷土科学館
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉	厳見澤紀碑の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉	一の沢水源地取水塔の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉	旧國兼家住宅の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉	阿弥陀如来立像の公開	岩見沢市教育委員会
美唄市	〈道指定 有形文化財〉	美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉	旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉	美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉	光珠内いん石の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉	4110形式十輪連結タンク機関車 2号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈道指定 史跡〉	野花南周堤墓群	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉	滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉	黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉	空知大滝甌穴群	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉	旧干場家レンガ倉庫の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉	新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉	毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	星槎大学(旧頼城小学校)校舎及の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	星槎大学(旧頼城小学校)体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁の公開	星の降る里百年記念館
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	華月館の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	牧羊用石造サイロの公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈道指定 有形文化財〉	タキカワカイギュウ化石	滝川市美術自然史館
深川市	〈郷土資料館企画展示〉	新所蔵資料紹介	深川市生きがい文化センター
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉	屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会

栗山町	〈町指定 有形文化財〉 「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫り の鮭の公開	栗山町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉記念館の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉麟太郎君記念碑の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉続縄文時代鳩山2遺跡「深鉢形土器」の公開	栗山町開拓記念館
月形町	〈町指定 有形文化財〉 樺戸集治監本庁舎の公開	月形町役場産業課商工観光係
月形町	〈町指定 有形文化財〉 北海回覧記の公開	月形町役場産業課商工観光係
新十津川町	〈町指定 有形文化財〉 絵馬(玉置神社奉祀之景) の公開	新十津川町教育委員会
新十津川町	〈町指定 無形文化財〉 新十津川獅子神楽の公開	新十津川神社他 20 ヶ所
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉 屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会
沼田町	〈町指定 有形文化財〉 クラウス15号蒸気機関車の公開	沼田町教育委員会
沼田町	〈道指定 有形文化財〉 本願寺駅逓の公開	沼田町教育委員会
札幌市	世界遺産を目指して― 北の縄文・パネル展	北海道環境生活部縄文世界遺産 推進室
札幌市	札幌市埋蔵文化財センター企画展	札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	〈国指定 重要文化財〉北海道大学農学部植物園・博物館の公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国指定 重要文化財〉北海道大学農学部第二農場の建物群の公開	北海道大学総合博物館
札幌市	野外博物館北海道開拓の村(歴史的建造物 52 棟)	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	第 158 回テーマ展 博物館資料の保存 -木をのこす-	北海道開拓記念館
江別市	縄文人に挑戦―見る、触れる、つくる、縄文生活体験ひろば―展	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	「北海道遺跡百選」展	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	世界遺産をめざす北の縄文展	北海道立埋蔵文化財センター
千歳市	史跡整備と公開活用について	千歳市埋蔵文化財センター
千歳市	史跡紹介	千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	<恵庭市指定文化財> 常設展示第2テーマ「先住の人びと」展示資料	恵庭市郷土資料館
石狩市	〈国指定 史跡〉 荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鮫様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 天然記念物〉 チョウザメの剥製の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の公開	石狩市教育委員会
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設の公開 〈市指定 史跡〉 北海道鉄道開通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造聖観音立像の公開	浅草観音寺
小樽市	〈市指定 有形文化財〉日本銀行旧小樽支店(金融資料館)の公開	金融資料館
小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築(旧田中家母屋)の公開	小樽市産業港湾部観光振興室
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	小樽市総合博物館

小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧日本郵船株式会社小樽支店の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造 五百羅漢像の公開	小樽市総合博物館
留寿都村	留寿都村公民館郷土資料室の公開	留寿都村教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩 陣屋跡出土砲弾、友情人形の公開	室蘭市民俗資料館
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉輪西屯田兵記念碑、輪西屯田兵旧火薬庫、 輪西屯田兵関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉白鳥大橋海底部等出土の材化石及び貝化 石標本の公開	白鳥大橋記念館みたら
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉 室蘭市旧室蘭駅舎の公開	室蘭観光協会
室蘭市	〈国指定 史跡〉 東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈国指定 名勝〉 名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開	室蘭市教育委員会
苫小牧市	苫小牧研究林 標本貯蔵室の公開	北海道大学苫小牧研究林
伊達市	縄文ロビー講座「北黄金縄文人の隣人について考える」	伊達市教育委員会
伊達市	特別展示「世界文化遺産を目指す 北海道・北東北の縄文遺跡群」	伊達市教育委員会
白老町	埋蔵文化財巡回公開展示	仙台藩白老元陣屋資料館
平取町	〈北海道 有形文化財指定〉 特別展「二風谷遺跡群出土のアイヌ資料」	沙流川歴史館
函館市	企画展 新収蔵資料展	市立函館博物館
函館市	展示解説セミナー 企画展「新収蔵資料展	市立函館博物館
函館市	市立函館博物館本館 開館	市立函館博物館
函館市	市立函館博物館分館 郷土資料館 開館	郷土資料館
松前町·厚沢部町	「幕末の松前・厚沢部」公開事業	松前町・厚沢部町教育委員会
森町	企画展「鷲ノ木遺跡とストーンサークル」	森町教育委員会
八雲町	〈国指定 重要文化財〉 コタン温泉遺跡出土品展	八雲町教育委員会
長万部町	町民センター 考古学資料コーナー開放	長万部町教育委員会
江差町	〈国指定 重要文化財〉「旧中村家住宅」の公開	江差町郷土資料館
江差町	〈道指定 有形文化財〉「旧檜山爾志郡役所」の公開	江差町郷土資料館
江差町	〈町指定 有形文化財〉「旧関川家別荘」の公開	江差町郷土資料館
旭川市	「世界遺産をめざして-北の縄文・パネル展 2012」	北海道環境生活部縄文世界 遺産推進室
音威子府村	音威子府村郷土資料展示	音威子府村公民館
増毛町	〈国指定 重要文化財〉旧商家丸一本間家の公開	増毛町教育委員会
枝幸町	〈道指定 有形文化財〉「ホロナイポ遺跡出土の遺物」展示	オホーツクミューシェアムえさし
利尻富士町	北のてっぺん縄文文化展	利尻富士町教育委員会
網走市	明治大学政治経済学部寄贈資料展 〜明治大学アラスカ遠征の記録〜	道立北方民族博物館
網走市	日本人によるアラスカ発掘映像の記録	道立北方民族博物館
網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示	網走市立郷土博物館

北見市	企画展「大昔の北見」北上4遺跡出土遺物とその時代	北見市教育委員会
北見市 (留辺蘂町)	〈市指定 有形文化財〉武華駅逓公開	北見市教育委員会留辺蘂教 育事務所
北見市	美里洞窟遺跡公開	北見市教育委員会
帯広市	ロビー展「十勝の鉄道史写真展」	帯広百年記念館
帯広市	博物館講座「博物館でなぜ鉄道か?鉄道資料の収集と保存」	帯広百年記念館
帯広市	博物館講座「民具からみるアイヌ文化 ~博物館資料を生かしたアイヌ文化の新展開~」	帯広百年記念館
上士幌町	嶋木遺跡出土遺物の公開	士幌町ひがし大雪博物館
中札内村	中札内村民文化祭(作品展示)	中札内村教育委員会
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内N遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館
浦幌町	博物館収蔵資料「開拓当時の農機具展」	浦幌町立博物館
浦幌町	測量図面が語る開拓史展	浦幌町立博物館
釧路市	特別展「マリモを守る」「マリモ保護の歴史と現在(いま)」	釧路市阿寒生涯学習課
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜 (残欠) の公開	釧路市立博物館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行臼駅逓の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開	別海町教育委員会
中標津町	〈国登録 有形文化財〉 旧北海道農業試験場根室支場陳列館の公開	中標津町教育委員会
標津町	標津町文化財展示会	標津町ポー川史跡自然公園

# 〔イベント〕

市町村名	公 開・活 用 事 業 名	主 催 者
新十津川町	〈町指定 無形文化財〉新十津川獅子神楽公開	新十津川町教育委員会
札幌市	第31回時計台まつり記念行事	時計台まつり実行委員会
札幌市	博物館ボランティアの集い 2012	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	写真館で記念撮影	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	写真館撮影会	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	北海道文化財保護功労者表彰式	北海道文化財保護協会
室蘭市	室蘭市開港 140 年市制施行 90 周年記念 ふるさと再発見 市内文化財めぐり	室蘭市教育委員会
洞爺湖町	縄文体験事業―縄文人のものづくりにチャレンジ!	洞爺湖町教育委員会
安平町	どんぐり祭り	安平町教育委員会
むかわ町	〈国指定 重要無形民族文化財〉アイヌ古式舞踊の公演	むかわ町教育委員会
函館市	〈国指定 重要文化財〉旧函館区公会堂「公会堂コンサート」	旧函館区公会堂
東川町	町民総合文化祭【町指定無形文化財】越中踊り子供保存会による公演	東川町教育委員会

東川町	町民総合文化祭【町指定無形文化財】羽衣太鼓保存会による公演	東川町教育委員会
占冠村	占冠村総合文化祭	占冠村教育委員会
増毛町	増毛町芸術文化施設活性化事業「秋田民話の語り」	増毛町教育委員会
苫前町	〈国指定重要文化財 旧花田家番屋〉おびらっ子クラブ「キッズ 番屋見学ツアー」	小平町教育委員会
湧別町	博物館宿泊体験「屯田兵屋に泊まろう!」	湧別町教育委員会
陸別町	ふるさとの遺跡を歩く	陸別町教育委員会
陸別町	第4回史跡ユクエピラチャシ跡写真コンテスト	陸別町教育委員会
標津町	標津町指定文化財見学会	標津町ポー川史跡自然公園

# 〔講演・講座〕

市町村名	公 開・活 用 事 業 名	主催者
札幌市	博物館ボランティア体験講座	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	菓子づくりの実演	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	資料観察(ハンズオン)講座 手にとってみてみよう!アイヌの民具(木彫編)	北海道開拓記念館
札幌市	歴史講座 海を渡ったアイヌの人びと 明治年間にセントルイ スとロンドンでおこったできごと	北海道開拓記念館
札幌市	文化の日講演会 アメリカ先住民はいま	北海道開拓記念館
札幌市	体験学習室「昔の道具を使ってみよう!」	北海道開拓記念館
千歳市	勾玉をつくろう!	千歳市埋蔵文化財センター
伊達市	縄文ロビー講座「北黄金縄文人の隣人について考える」	伊達市教育委員会
洞爺湖町	縄文ロビー講座	洞爺湖町教育委員会
白老町	白老歴史講座 「くらしから見た白老の歩み~ 親は何をしてきたか」	仙台藩白老元陣屋資料館
むかわ町	むかわ町の文化財について	むかわ町教育委員会
平取町	〈北海道 有形文化財指定〉沙流川歴史館講座	沙流川歴史館
松前町	「村岡コレクション落部アイヌ民族資料について」の講演事業	松前町教育委員会
枝幸町	勾玉作り講座	オホーツクミューシェアムえさし
網走市	モヨロ貝塚体験講座	網走市立郷土博物館
網走市	『網走の古代文化』~1300年前のモヨロの暮らし~	網走市民大学
帯広市	博物館講座「博物館でなぜ鉄道か?鉄道資料の収集と保存」	帯広百年記念館
帯広市	博物館講座「民具からみるアイヌ文化 〜博物館資料を生かしたアイヌ文化の新展開〜」	帯広百年記念館
帯広市	博物館講座「アイヌ語で自然かんさつ」	帯広百年記念館
浦幌町	博物館ミニ移動講座「町内文化財巡り」	浦幌町立博物館
釧路市	国際シンポジウム「サルルンカムイとともに歩んだ60年、そして未来へ」 第1部タンチョウと歩んだ道 第2部タンチョウそして未来へ	釧路市動物園
厚岸町	古文書教室	厚岸町海事記念館
厚岸町	文化財歴史講演会	厚岸町海事記念館

・平成24年度北海道文化財保護強調月間は→

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm

#### (8) 平成 24 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、 文化財調査員36名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りま した。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
						_
パトロール対象件数	51	51	9	47	11, 929	

#### (9) 平成 24 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数 (※天然記念物のみ)

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文 化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

#### [国指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	18	0	50	74
北海道教育委員会	3	0	9	9
市町教育委員会	24	1	23	49

#### 〔道指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	17	11

#### (10) 平成 24 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
93	31	501	66	20	711

## 2 埋蔵文化財

## (1)市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

								1	l					
	岩見沢市	54	}	ニセコ町	194		知内町	32	上	幌加内町	8		雄武町	50
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	52	Ш	(上川計)	1,070		(オホーツク計)	2,190
	美唄市	6		留寿都村	7	渡	北斗市	105		留萌市	28		帯広市	61
	芦別市	93	後	喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	105
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	39
	三笠市	12		倶知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74
空	滝川市	10		共和町	31	島	八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	940		遠別町	5		清水町	36
	深川市	76		神恵内村	10		江差町	64		天塩町	43	+	芽室町	65
	南幌町	0	+	積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5
	奈井江町	22	志	古平町	11	檜	厚沢部町	54		稚内市	139		更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	32
	由仁町	37		余市町	63		せたな町	70		浜頓別町	20		広尾町	21
	長沼町	58		赤井川村	66	山	奥尻町	32	宗	中頓別町	8	勝	幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	803		今金町	59		枝幸町	70	附	池田町	58
	月形町	8		室蘭市	36		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48		苫小牧市	260		旭川市	216	谷	礼文町	55		本別町	99
知	新十津川	15	胆	登別市	33		士別市	46		利尻町	11		足寄町	114
,	妹背牛町	4		伊達市	89		名寄市	150		利尻富士町	20		陸別町	55
	秩父別町	8		豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20		浦幌町	58
	雨竜町	5		洞爺湖町	15	ļ	鷹栖町	28		(宗谷計)	377		(十勝計)	1,103
	北竜町	10		壮瞥町	1		東神楽町	24		網走市	166		釧路市	136
	沼田町	6		白老町	44	上	当麻町	18		北見市	470		釧路町	76
	(空知計)	557	振	安平町	74		比布町	22		紋別市	66	釧	厚岸町	90
	札幌市	532		厚真町	136		愛別町	23		大空町	64		浜中町	121
	江別市	142		むかわ町	99		上川町	23	オ	美幌町	123		標茶町	208
	千歳市	286		(胆振計)	807		東川町	23	~	津別町	60		弟子屈町	50
石	恵庭市	127		日高町	132		美瑛町	43	ホ	斜里町	364	路	鶴居村	73
	北広島市	59		平取町	127		上富良野町	37		清里町	35		白糠町	31
	石狩市	220	日	新冠町	43		中富良野町	35		小清水町	42		(釧路計)	785
狩	当別町	18		新ひだか町	153		南富良野町	25		訓子府町	267		根室市	306
刃	新篠津村	2	-4-	浦河町	58		占冠村	11	ツ	置戸町	104	根	別海町	85
	(石狩計)	1,386	高	様似町	28	Ш	和寒町	36		佐呂間町	38		中標津町	66
	小樽市	102		えりも町	67		剣淵町	30	ク	遠軽町	218		標津町	191
後	島牧村	24		(日高計)	608		下川町	69		湧別町	55	室	羅臼町	75
	寿都町	43		函館市	320		美深町	42		滝上町	15		(根室計)	723
志	黒松内町	51	渡	松前町	122		音威子府村	10		興部町	39			11,994
	蘭越町	48	島	福島町	33		中川町	10		西興部村	14	(	前年比 66 箇	所増)
لـــــا							ルの海頭を	l .			L .			

<sup>・</sup>詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」をご覧ください。

 $<sup>\</sup>rightarrow \underline{\text{http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm} }$ 

## (2) 平成 24 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	335	
平成 24 年度北海道実施の所在調査	72	24, 213. 835
平成 24 年度北海道実施の試掘調査	60	251.810

## (3)平成24年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	戸	所在調査		試掘調査		Ī.	<b>听在調査</b>	試掘調査	
日1	件数	面積	件数	面積	管内	件数	面積	件数	面積
空知	5	467. 400	6	15. 501	上川	11	6, 321. 400	3	2. 367
石狩	0	0.000	5	74. 307	留萌	2	2, 735. 700	1	0.014
後志	3	309. 472	5	9. 195	宗谷	3	4, 270. 310	3	20. 805
胆振	11	416. 667	7	63. 864	オホーツク	16	3, 214. 419	9	29. 388
日高	1	60.800	2	3. 237	十勝	14	5, 642. 930	13	20. 593
渡島	2	0. 609	2	8. 484	釧路	4	774. 128	3	4. 018
檜山	0	0.000	1	0. 037	根室	0	0.000	0	0.000

#### (4)平成24年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
空知	2	3, 078 m²
石狩	8	12, 048 m²
後志	2	2, 232 m²
胆振	16	55, 987 m²
日高	3	7, 141 m <sup>2</sup>
渡島	12	31, 326 m²
檜山	3	4, 490 m²

	管内	件数	調査面積		管内	件数	調査面積
	空知	2	3, 078 m²		上川	0	_
	石狩	8	12, 048 m²		留萌	0	_
	後志	2	2, 232 m²		宗谷	3	1,551 m²
	胆振	16	55, 987 m²		オホーツク	18	3, 404 m <sup>2</sup>
	日高	3	7, 141 m <sup>2</sup>	m²	十勝	3	409 m²
	渡島	12	31, 326 m²		釧路	1	18 m²
	檜山	3	4, 490 m <sup>2</sup>		根室	2	176 m²
• 平瓦	<b></b> 24 年月	度の発掘詞	周査の概要-	<b>→</b>	合計	73	121, 860 m <sup>2</sup>

http://www.dokvoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h24gaiyou.htm

## (5)平成24年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項			合計			
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	1	6	82	25	0	114
法第 94 条	0	21	33	25	0	79

## (6) 平成 24 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項			合計				
	未填	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
	法第 96 条	0	0	0	0	0	0
	法第 97 条	0	0	0	0	0	0

## (7)平成24年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	80	2	82	2,344箱
政令市・中核市	4	19	23	212 箱

## (8)平成24年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	16	130	2,526箱

<sup>※</sup>箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

#### 3 その他

(1)北海道教育推進計画 (第四次北海道教育長期総合計画 平成 20 年 3 月)

#### 基本日標5 全無婆らしい生涯学習社会の実現 基本方向11 文化・芸術活動の推進

#### 項目36 文化財の保存・活用

#### 現状

適内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化製が数多く残されています。これらは、之間道の歴史や文化を正しく 理解するために欠かせないものであり、これまでも進度の共有財産として保存・活用を扱ってきましたが、特代の推移 により保存や伝来が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。 また、本道初の国宝の誕生や縄文遺跡的など [ \*\*\* ] の世界遺産\*養機への気適の乗り上がりなどにより、文化財\* に対する関心が一層高まる中で、本道の特性を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが 求められています。

#### 施策の概要

末週の養薑な文化財を保護するため、有新・無知の文化財、記念期、速蔵文化財等の競差及び保存・活角を構築的に 施進するとともに、アイヌ国的文化財\*の保存・伝承の散紀を襲実に推進します(ます。)。 また、世界連差登録の管理をかざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を実代に伝え継承していく ため、文化財に関し対機会の使料や文化財情報の発便に訪めます。

#### 施策の対応方向

■ 文化財の課金・保存・活用の推進 ・ 有別・領形の文化財、史辞・名誉 - 天然記念和及び理論文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の構造 及び保存・店用在補籍的に進めます。

#### ■ アイス民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進

アイヌの人たちがえ匿の風土に根ざして客んできた文化は、本連の歴史や文化の形成に岸くかかわっており、特 に、自然との共生の中で活われた豊かな知恵や総額は貴重な財産と含えます。有別・祭形のアイヌ氏哲文化財各後 世に伝えていくため、機関して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校に おいてアイヌの人だちの歴史・文化等についての理解を禁める教育活動の充実に取り組みます。

#### ■ 世界遺産登録へ向けた歌組の推進

実現学史部の確立連鎖時也大規模形式存在施証を人間共通の安として主要に引き継いでいくため、ユネスコ(国 施達合教育科学文化機関)の世界文化遺産"への登録へ向けた政能を推進します。

#### 重 文化財に載しむ機会の提供と情報の発信

責要な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で接受に伝えていくため、学校教育や社会教育の適において文化 数を活用する機会や、子どもや非域の人々が文化剤に頼しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報 の発揮に取り組みます。

#### 主な事業の振要(H20~24)

* * 0 # *	服施主体
○ 文化財の報告・保存・活用の充棄 ・ 文化財の指定や音像等を推進することもに、文化財パトロール*の実施等により、指定文化財等の研 状を把接し、必要におじて保存整備を行います。 ・ 連載文化財活業地*の密接な把握とその周知に努めます。	物料 形配
<ul> <li>○ アイヌ長倍文化計の調査・保存・伝承活動の推進         <ul> <li>アイヌ保治文化財協産事業やアイヌ保谷文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ保険文化原子」やアイヌ接他導着養成講座等の報告を支援します。</li> <li>アイヌ提供文化前等の指示的報告を支援します。</li> </ul> </li> </ul>	进 他的村 民間
○ 世界遺産養養へ向けた取組の推進 ・ 構文意識契や大規模製穴住所維持を育業候補として、北東北3歳(青森県、岩子県、秋田県)及び 連内関係市町村等と連携を図り、世界遺産製定一覧表"への貨車をめざすととちに、経及・世代事業 や総知法動に取り組みます。	建·集 物町村 民間
O 文化財に載しむ機会の提供と情報の発信 ・ 「文化財保護物請共禁! を投歩して文化財に難し打機会を提供するとともに、web等「走海遵文 化財本権」や推定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する場合的な情報の発信に取り 組みます。	連 物配料 飛艇

#### ● 目標指標

H 41	推復の概要	基準年度 の状況	日標年度 の状況
個及び北陸道の指定文化財教	関及び北海道が指定する文化製の整	H 1 S 29594	H E 4 320#
アイヌ文化にかかわる講座 - 研修会等への参加者数	連内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる議僚・研修会 等への参加者数	H 1 8 1,262人	H 2 4 1.500 A

#### (2) 平成 24 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この 審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が 任命します。現在、審議会は15名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先:北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ 直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成24年度は次のとおり開催しました

開催年月日	時間	場所	審議内容
平成 24 年	13:30	かでる2・7	・文化財指定・登録の状況について
9月5日(水)	~15:20	510 会議室	・文化財の指定・登録に向けた取組につい
			て
平成 25 年	13:30	北海道第2水	・文化財指定・登録の状況について
3月11日(月)	~15:20	産ビル	・道指定史跡「斜里朱円周提墓及び出土遺
		5 階会議室	物」の名称変更と道指定有形文化財の指
			定について

## (3)北海道文化財保護審議委員一覧(平成25年3月31日現在)

(任期: 平成24年7月1日~平成26年6月30日)

氏 名	所 属 等
乾 淑子	東海大学教授
岩 澤 孝 子	北海道教育大学准教授(岩見沢校)
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
小 栗 祐 美	北海道教育大学教授(函館校)
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校教授
澤村寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和 之	函館工業高等専門学校教授

早矢仕 有 子	札幌大学教授
本 田 優 子	札幌大学副学長
稗田昭人	北海道開発局開発監理部長
松本芳樹	北海道森林管理局企画調整部長

<sup>・</sup>北海道文化財保護審議会について→<a href="http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm">http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm</a>

#### (4) 平成 24 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成24年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり4回開催しました。

審査年月日	時間	場所
平成24年6月22日(金)	10:30~15:00	道庁別館8階第2号会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)
平成24年8月31日(金)	10:30~15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山6条19丁目)
平成24年11月26日(月)	10:30~15:00	道庁別館地下1階大会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)
平成 25 年 2 月 15 日(金)	10:30~15:00	道庁別館地下1階大会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)

## (5)北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成25年3月31日現在)

(任期:平成24年6月6日~平成25年3月31日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
伊 藤 寛	札幌(2月)、旭川
川 合 喜與文	札幌(6、11、2月)
梶   睦	札幌(11月、2月)
野 波 明 利	札幌(6月)、旭川
石井 利明	札幌(6月、11月)

#### (6)北海道立埋蔵文化財センター

#### ①入館者

平成24年度	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1244	1127	1143	1243	1727	1018	1019	736	426	551	405	654	11, 293

#### ②資料等の閲覧・貸出等件数

平成 24 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3 月	合計
件数	4	10	4	3	7	12	15	3	6	4	9	12	89

## ③事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
	平成 23 年度発掘調査報告会	平成 24 年 4 月 21 日	106 人
講演会等	秋季講演会	平成 24 年 9 月 15 日	53 人
	春季講演会	平成 25 年 3 月 2 日	60 人

	展示室資料ミニミニ解説	平成 24 年 6 月 2 日	19 人
考古学教室	ものづくりの考古学1. ガラス玉	平成 24 年 6 月 16 日	9人
	はじめての考古学1.発掘入門	平成 24 年 7 月 7 日	20 人
	はじめての考古学2. 土器入門	平成 24 年 8 月 11 日	16 人
	ものづくりの考古学2. 石器	平成 24 年 11 月 10 日	15 人
	親子ガラス玉づくり	平成 24 年 6 月 23 日	18 人
こども	夏休み自由研究教室(第1次)	平成 24 年 7 月 28 日	24 人
考古学教室	夏休み自由研究教室(第2次)	平成 24 年 8 月 4 日	27 人
	冬休み自由研究教室(第3次)	平成 25 年 1 月 5 日	18 人
	冬休み自由研究教室(第4次)	平成 25 年 1 月 12 日	25 人
研修会	平成 24 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 24 年 12 月 21 日	44 人

## ④平成24年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間	
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 23 度発掘調査成果展	平成 24 年 3 月 31 日~6 月 10 日	
2	世界遺産を目指す北の縄文展	平成 24 年 4 月 1 日~25 年 3 月 31 日	
3	縄文人に挑戦-見る、触れる、つくる、縄文 生活体験ひろば-展	平成 24 年 6 月 30 日~10 月 14 日	
4	北海道遺跡百選 5 -北海道埋蔵文化財センターの調査から	平成 24 年 10 月 27 日~25 年 3 月 3 日	
5	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 24 年度発掘調査成果展	平成 25 年 3 月 30 日~6 月 23 日	

## ⑤平成24年度考古学教室出前講座一覧

## [事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
北斗市	北斗市立谷川小学校	平成 24 年 5 月 9 日	34名
小樽市	小樽市立手宮西小学校	平成 24 年 6 月 27 日	18名
剣淵町	剣淵町資料館	平成 24 年 8 月 3 日	14名
大空町	大空町女満別研修会館	平成 24 年 9 月 1 日	14名
雨竜町	雨竜町公民館	平成 24 年 9 月 29 日	16名
利尻町	利尻町交流促進施設	平成 24 年 10 月 8 日	30名
羽幌町	羽幌町中央公民館	平成24年11月11日	33名
黒松内町	ふれあいの森情報館	平成 24 年 11 月 17 日	24名

## (7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年~	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地
	(年4回更新)	図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出
		土遺物などの遺跡情報を公開しています。
	URL: http://ww	w.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を見るこ	平成 20 年	国指定や道指定などの文化財を展示・公開してい
とのできる主な博物	1月30日	る博物館・郷土資料館について、主な見どころと
館・資料館		所在地などを紹介しました。
	URL: http://ww	w.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年~	文化財に関する情報をニュースレター形式で分か
	(随時更新)	りやすく解説したものです。年5回程度刊行して
		います。
	URL: http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.h	
平成 23 年度北海道文	平成 24 年	平成23年度の北海道における文化財保護の動き、
化財年報	6月20日	現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
	URL: http://ww	w.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/23bunkazai-nenpo.htm
平成 24 年度文化財保	平成 24 年	北海道文化財強調月間(10月8日~11月7日)期
護強調月間	9月20日	間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブ
		ックを公開するとともに、小学生~高校生が応募
		したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載し
		ました。
	URL: http://ww	w.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm
市町村における発掘	平成 24 年	平成 24 年度に市町村教育委員会が実施した発掘
調査の概要(平成 24	3月25日~	調査について紹介しました。
年度版)	URL: http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h24gaiyou.htm	
もっと知ろう身近な	平成 21 年	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介
文化財(指定文化財概	12月16日~	しています。
要一覧)	(随時更新)	
	URL: http://ww	w.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/shiteibunnkazaijoho.htm

「北海道・北東北を中	平成 21 年	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世
心とした縄文遺跡群」	8月7日~	界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展など
の世界文化遺産登録	(随時更新)	の取組について紹介しました。
をめざして	URL: http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm	

# (8)文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部局くらし安全局 文化・スポーツ課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/